

## 三草山で得たベニバハナカミキリとアオカミキリ

森 和 夫

猪名川町の三草山において、ベニバハナカミキリとアオカミキリを採集したが、いずれも当地の周辺では得難い種である。特に、三草山での記録は無いものと思われるので報告する。

### ①ベニバハナカミキリ

*Paranaspia anaspoides* (Bates)

#### 〈採集データ〉

○兵庫県川辺郡猪名川町三草山

○23-VI-1990. 1ex., 15-VI-1991. 3exs.

本種は、近年、ケヤキやコナラ等の木のウロでの採集方法が知られるようになったが、依然採集しにくい種類である。

これまで、当地周辺では、笹部の栗の花を掏う方法が最も確率の高い採集法と言われていた。

筆者は、以前に笹部駅東側の台場クヌギの幹に止っている個体を採集したことがあった(20-VI-1965, 1ex.)。その後、1990年に三草山に登った際、薄暗い雑木林中の台場クヌギの縁を飛んでいるカミキリを見付けた。色合いと大きさから見て、ひょっとしてと思いながらネットで掏ったところ本種であった(前記データ参照)。この際は、時間がなかったため直ぐに下山したが、次の年に、同じ台場クヌギとその周辺も調べた。その結果は、やはり台場クヌギのまわりを飛んでいた1頭と、ウロの中にいた2頭を採集することができた。この時期には、マイマイガの終令幼虫が幹にいくつも張り付いているが、中にはウロにも入っているものもあって多少グロテスクである。ウロの入口から息を吹きかけるとマイマイガの幼虫がうごめくと共に、中にベニバハナカミキリがいれば、あわてて這い出してくるため容易に採集することができた。ここでの個体数は多くはなかったが、台場クヌギのウロで発生していることは間違いないものと思われる。

また、同様な環境は、周辺の山々にも散在するため、他にも発生地が見出せるものと考えられる。

### ②アオカミキリ

*Schwarzerium quadricolle* (Bates)

#### 〈採集データ〉

○兵庫県川辺郡猪名川町三草山

アオカミキリは、以前には宝塚市に多産したそうであるが、現在では採集された話を聞かない。また、食樹であるカエデが豊富な箕面公園においても採集記録は非常に少ない。最近の確実な産地としては池田市東山がよく知られているが、ここでも個体数は多いものではないようである。

今回、筆者は前記データのように三草山にて本種を採集した。猪名川町では初めての記録ではないかと思われる。

当日は、晴天で風も少ない採集日和であった。ヒロオビミドリシジミは、すでに発生期を過ぎて痛んでいたが、山道には、時おりオムラサキの新鮮な♂が旋回していた。午後4時頃、下山途中でオムラサキを取りそこねた際に、中型のカミキリが道端のヌルデの葉に止ったものが目に入った。これが前記の個体であった。

本種の飛翔力からみて、遠くから飛来したとは考えられないため、付近に発生木があるものと考えられる。

## シラホシハナムグリの新産地

(兵庫県甲虫相資料・276)

高橋寿郎

兵庫県下におけるシラホシハナムグリ *Protaetia brevitarsis* (Lewis, 1879) については筆者がかつて本誌上に発表させて頂いた (Vol. 16, No. 1, 1988)。その後筆者県下で新たに採集したことが無く記録の方も見られないようである。1992年9月9日クワガタムシの多産で知られている神戸市西区寺谷を蜂谷幸雄氏に案内して頂いた。当日その地で樹液に来ていた本種が蜂谷幸雄氏によって2♂採集された。シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis submarmorea* (Burmeister, 1842) と一緒に樹液に来ていたものである (標本は筆者保管)。このあたりもっと詳しく調べると案外数多く見られるのかもしれない。新しい産地として報告しておく。